歴史&文化を知れば“街”がわかる！

一宮市の史跡ガイド

真清田神社を中心に栄えてきた一宮市は長い歴史を有し、織田信長をはじめ偉人が活躍した場所も多い。
各スポットの歴史的背景を知れば、より興味深く史跡や名所を観光できる！

真清田神社
●ますみだじんじゃ
☎0586-73-5196 MAP P20A1

市の名前の由来となった「尾張国一の宮」。参拝者は年間100万人を超え、江戸時代には幕府の神領として朱印領333石を奉るなど、厚く崇敬を集めてきた。木曽檜を用いた尾張造の社殿も見事だ。

住一宮市真清田1-2-1 交JR尾張一宮駅・名鉄一宮駅から徒歩8分 時拝観自由(宝物館は9～15時) 料宝物館入館200円 休宝物館は土・日曜、祝日のみ開館(事前予約制) P60台(30分無料、以降1時間200円)

詳しくはマップで

そうなんだ!!ヒストリー
信長が切り取った蘭奢待(らんじゃたい)が神社に!
天正2年（1574）に織田信長が切り取ったとされる東大寺正倉院の蘭奢待を宝物館で保管。常時公開はしていないため詳細は要問合せ。

➲本殿と渡殿は国の登録有形文化財

一宮市史跡マップ

聖徳寺跡 ●しょうとくじあと
☎0586-62-9711
（一宮市尾西歴史民俗資料館） MAP P20A2

戦国時代にこの地にあった浄土真宗の大寺院跡。尾張と美濃の国境に位置し、稲葉山城主の斎藤道三と織田信長がここで会見に臨んだことで知られる。現在は石碑があり、市の史跡に指定される。

住一宮市冨田 交名鉄尾西線萩原駅からi-バス尾西南コースで15分、聖徳寺跡下車すぐ 時料休拝観自由 Pなし

➲後年には豊臣秀吉の加賀野井城や竹鼻城攻めの本陣にもなった

そうなんだ!!ヒストリー
織田信長と斎藤道三が会見した場所がココ!
斎藤道三が初めて織田信長と会見したのが聖徳寺とか。道三はこの会見で信長の本当の力量を見抜いたとされる。

美濃路 起宿
●みのじ おこしゅく
☎0586-62-9711
（一宮市尾西歴史民俗資料館） MAP P20A2

木曽川の起渡船場にあり、水陸交通の拠点として賑わった宿場。130年前の濃尾地震で倒壊した脇本陣跡に建てられた旧林家住宅は国登録有形文化財で、各地から集めた石を配した庭園も必見。

住一宮市起字下町211 交JR尾張一宮駅・名鉄一宮駅から名鉄バス起行きで20分、起下車、徒歩5分 時9～17時 料一宮市歴史民俗資料館入館無料 休月曜（祝日の場合は翌平日）、祝日の翌日 P20台

➲一宮市尾西歴史民俗資料館の本館も見学したい

⬇石組みが見事な旧林氏庭園も必見!

そうなんだ!!ヒストリー
将軍上洛時には270隻の船橋が!
朝鮮通信使や将軍が通行する時には、270隻を超える船を繋いだ全長約850mの船橋が木曽川に架けられたのだとか。

COUPON
一宮市尾西歴史民俗資料館オリジナルマグネットプレゼント
※1冊につき1名まで有効
※2022年5月31日まで有効

脇本陣と船庄屋を務めた旧林家住宅を一般に公開

知っておきたい一宮語録

地元では当たり前に使われるけど、ほかのエリアでは??な一宮ワードを解説。全ワードを巧みに使えれば、生粋の一宮っ子に認定！

【一宮ガラス】
いちのみやがらす。金銭にしっかりとした賢い一宮の商人を表す言葉。ほかの地域からは、その狡猾さから恐れられたとか。

【ガチャマン景気】
がちゃまんけいき。戦後の統制下に、機織り機でガチャンと織るとお金を生んだ好景気を表した言葉。かつての繊維業の繁栄ぶりがわかる。

【一宮】
いちみや。一宮（いちのみや）の略称。一宮では言葉を略す傾向があり、自分の市の名称までも短くしてしまう。

【標準服】
ひょうじゅんふく。市立小学校に通う児童が式典の際に使用する服。

【屋運】
おくうん。屋内運動場（体育館）の略。旧一宮市の地域で使用されている。

【ダンシングヒーロー】
だんしんぐひーろー。一宮七夕まつりや町内の盆踊り大会では、必ずと言っていいほどこの曲がかかる。

【カド・ケド】
かど・けど。漢字ドリル・計算ドリルの略。

妙興報恩禅寺
●みょうこうほうおんぜんじ
☎0586-45-1973 MAP P20B3

貞和4年（1348）に創建された臨済宗妙心寺派の古刹。県指定史跡の境内地には、創建当時の姿を伝える勅使門、尾張徳川家の大曽根屋敷より移築された総門など、数多くのみどころがある。

住一宮市大和町妙興寺2438 交名鉄名古屋本線妙興寺駅南口から徒歩7分 時料休拝観自由 P一宮市博物館61台利用

動画もチェック

➲釈迦三尊像を祭る仏殿は、天井の龍が油絵なのも珍しい。4～11月に公開。時10～15時 休月曜（雨天中止）

➲楼上に江戸時代の釈迦三尊、地蔵菩薩、十六羅漢像を祭る三門

➲勅使門は創建当初の姿を伝える建物。国指定の重要文化財

➲足利六代将軍義教筆と伝える「妙興報恩禅寺」の額が掲げられた仏殿

そうなんだ!!ヒストリー
柳生新陰流の秘技無刀取り発祥の寺
柳生新陰流の流祖・上泉伊勢守信綱が修行をしたとされる。寺の南門の西には、柳生無刀取り発祥の寺の石碑が!

法蓮寺
●ほうれんじ
☎0586-86-2816 MAP P20B1

日蓮宗身廷山久遠寺の直末寺。岩倉城主・織田信安の重臣として黒田城代に赴任した山内盛豊（一豊の父）が、菩提寺として崇拝した。本堂の北には盛豊と、一豊の兄・十郎の墓がある。

住一宮市木曽川町黒田勘治西60 交JR東海道本線木曽川駅東口から徒歩6分 時料休拝観自由 P20台

⬆山内一豊公の立志像

⬆山内一豊公出生之地の石碑が立つ

黒田城跡
●くろだじょうあと
MAP P20B1

かつての黒田城跡は現在の一宮市立黒田小学校に。黒田城跡の石碑が立つほか、内助の功の逸話に由来する山内一豊と馬の銅像もある。

そうなんだ!!ヒストリー
土佐藩初代藩主山内一豊生誕地
黒田城跡は山内一豊の父・盛豊が城代を務めた城。一豊は天文14年（1545）に黒田城で誕生したとされる。

浮野古戦場跡
●うきのこせんじょうあと
☎0586-28-9131
（一宮市観光協会） MAP P20C2

永禄元年（1558）に織田信長と岩倉城の織田信賢が相見えた古戦場跡。信長は総勢3000余騎で出陣し、総見記では信賢の岩倉勢900余、信長公記では1250余の首級を挙げたと伝わる。

住一宮市千秋町浮野字海道 交JR尾張一宮駅・名鉄一宮駅からi-バス千秋町コースで27分、千秋北保育園下車、徒歩5分 時料休拝観自由 Pなし

そうなんだ!!ヒストリー
信長の尾張統一前の大一番がこの地で!
清洲城を手中にし、反旗を翻した弟・信行を討ち、ついに浮野の戦いで織田信賢を破って尾張統一を果たした。

⬆討死した者を弔う浮荆（うぐいす）首塚跡に浮野古戦場址の碑が

真清田神社の境内社 服織神社（はとりじんじゃ）で縁結び

七夕まつりの織姫こと棚機姫神（たなばたひめのかみ）がご祭神。地場産業の織物の神様として信仰を集めるほか、七夕伝説に因んで縁結びの神様としても知られている。一宮七夕まつりも同社を中心に開催される。

⬆もう1本の運命之紅糸は持ち帰って、身に付け大切に持っておこう

➲運命之紅糸が2本入ったお守りは黒とピンクの2種類。各1000円

⬅1本の運命之紅糸は、参拝後に服織神社に結んで祈願をしよう